

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		豊橋市立高山学園				公表日		令和7年 2月 7日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22			0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	8	保育士としての経験が豊富な職員が多く配置されている。 今年度より作業療法士が月1.2日程度配置されている。	作業療法士等専門職の配置がされると、療育の質の向上や専門的な支援につながり有効的である。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	0	作業療法士や職員間で検討しながら、構造化した環境となるように工夫している。	人員の都合上、個別対応が難しい時もある。 構造化に必要な備品等を準備できるように予算の計上を図っていく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	0	遊具点検や玩具の消毒、療育室等の清掃を丁寧に行っている。	ガイドラインに沿った衛生的で安全な環境づくりに今後も努めたい。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	1	感覚の部屋や遊戯室、にこにこルーム（多目的室）を有効に使っている。	パーティションなどを使って室内の構成を状況に合わせて工夫していく。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	0	ミーティングなどを行い情報共有を図っている。	業務改善といった視点でPDCAサイクルの参画をしていく。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	年1回の事業所評価を行い、意見を職員間で共有し改善を図っている。	改善に至らないことについては、理解がいただけるように努めていく。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	0	職員にアンケート調査を行い、できることから業務改善を進めている。 また、年1回事業所評価を行い、意見をもとに改善を図っている。	業務改善は職員と共に方法を探っていく。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今後行っていく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	0	様々な分野の研修を受講したり、職員のスキルアップを図る為に園内研修の充実に努めている。 外部講師による定期的な勉強会も開催している。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21	0	児童発達支援ガイドラインに即して支援プログラムを作成している。	今年度中に公表をしていく。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0	子どもの支援に関わる職員で情報共有を行い子ども理解に努め、個別支援計画に反映させている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	0		療育の振り返りの時間が十分に確保できるようにしていく。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	1		フォーマルなアセスメントのツールについて、外部の専門家の意見を参考にしながら、より良いものとなるよう順次改善を図っている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0	アセスメントを基に支援の内容を検討し、願いやねらいを掲げ、具体的な支援内容を計画に載せている。 個別に合わせて4つの支援内容を載せている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0	子どもの姿を踏まえ、クラス単位で立案し振り返りを行っている。	療育の振り返りの時間が十分に確保できるようにしていく。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	1	園内研修を定期的に行い振り返りを行っている。季節に合わせた内容を活動プログラムに反映させている。	活動内容が固定化しやすい傾向にある為、四期に分けて園内研修を行い、情報共有を図っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1	個別課題と集団課題を明確に捉え、適宜組み合わせ支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	1	支援開始前にミーティングを行い情報共有をし、連携を密に図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	3	療育の振り返りの時間を確保し、翌日の療育へ繋がるようにしている。	支援終了後もバスの添乗や他の業務などで、十分な話し合いの時間が持てないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	0	定期的にエピソード記録を取り、子どもの思いや育ちについて検証している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0		支援の方針を見直した時に、児童発達支援計画に反映できるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20	0	児童発達支援管理責任者が参画し、保護者や利用者の意向を踏まえ支援の方向性を検討している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1	必要に応じて連携を図ったり、療育関係者会議などに参加し、情報共有を図ったり、相談体制を構築している。	医療関係機関と連携を密に図っていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0		移行に向けた支援は丁寧に行っているが、併行利用の制度は行ってない。併行利用の必要性を鑑み、今後検討していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	必要に応じて連携を密に図り、支援が途切れないように意識している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	1	こども支援専門部会の事務局として関わり、こども通所支援事業所連絡会やこども通所支援事業所交流会、児童通所職員向け講座に参加するなど地域の質の向上に努めている。	児童発達支援センターとしての役割を果たせるように努めていきたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	専門職や外部講師を招き勉強会を行ったり、積極的に研修へ参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	自立支援協議会のこども支援専門部会の事務局として活動している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	21	0	近隣の保育園との交流を年間通して行っている。	交流内容や回数など目的を明確にしながら見直していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	月1回程度の個別遊びや午後参観などで時間を設け共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	2	児童精神科医の講師や卒園児保護者を招いて研修や情報共有する機会を設けている。ペアレント・トレーニングは療育関係のチームで行っている。	ニーズに合わせた家族支援が行える機会を検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	0		十分な説明を心掛けていきたい。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21	0	機会を設けながらアセスメントをしっかりと行うように心掛けている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0	個別支援計画を保護者の同意を得ながら作成している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	0	懇談会や個別遊びの中で密に話す機会を設けている。必要に応じて臨時に話し合いの機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	1	保護者の交流できる機会を保護者会役員と連携して設けている。	兄弟児の交流や支援は不十分である。検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0	園内で情報を共有し、迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	0	手紙やアプリなどを使い情報を発信している。	HPを有効的に活用し、地域への中核的機能を果たせるようにしたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	リスクマネジメント会議を定期的に行い周知している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0	個別のケースに合わせて配慮を行うように努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	4		コロナ渦より地域の方に参加いただいていない。地域に開かれた事業所となるように改善していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	0		避難訓練や防災訓練、不審者訓練などを行っているが、ご家族へのマニュアル周知は行っていない。より良い方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	BCPを作成し、訓練を定期的に行っている。	訓練内容の見直しを行うとさらに有効であると考ええる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21	0	保護者から聞き取りをしたり書類に記載してもらったりと状況を把握し対応している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	かかりつけ医の診断によるアレルギー疾患生活管理指導表を提出してもらい、指導表を囁託医と確認を取り適切な管理を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0	リスクマネジメント会議を定期的に行ったり、施設の安全管理などのチェックリストを行ったりなど安全に十分に留意している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	0		保護者への安全計画の周知ができていないため今後進めていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0	ヒヤリハットが起きた時には事例を記載し、職員間で周知し対策を図っていく。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	虐待防止委員会を開催し、職員は園独自の権利擁護や不適切な関わりについてのチェックリストを行っている。研修参加もしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	0	危険があるなどやむを得ない身体拘束については、園の日誌に記載をし報告を徹底している。保護者への説明も行っている。	